

法華經は大海也、觀經・阿彌陀經等は小河也。されば念佛等の小河の白法こそ先にひるべしと經文にも説給<sup>キヒ</sup>て候ひぬれ。大集經の五箇の五百歳の中の第五の五百歳白法隱没と云と、雙觀經に經道滅盡と云とは但一つ心也。されば末法には自始雙觀經等經道滅盡すと聞えたり。經道滅盡と云は經の利生の滅すと云事也。色の經卷有にはよるべからず。されば當時は經道滅盡の時に至て二百歳に餘れり。此時は但法華經のみ利生得益あるべし。されば此經を受持して南無妙法蓮華經と唱奉るべしと見えたり。藥王品には後五百歳中廣宣流布於閻浮提無令斷絶と説給ひ、天台大師は後五百歳遠沾妙道と釋し、妙樂大師は且據大教可流行時と釋して、後五百歳の間<sup>ニ</sup>に法華經弘て、其後は閻浮提の内に絶失る事有べからずと見えたり。安樂行品云於後末世法欲滅時受持讀誦斯經典者文。神力品云爾時佛告上行等菩薩大衆爲屬累故説此經功德猶不能盡。以要言之。如來一切所有之法。如來一切自在神力如來一切祕要之藏。如來一切甚深之事。皆於此經宣示顯說云云。此等の文の心は、釋尊入滅の後第五の五百歳と説も、末世と云も、濁惡世と説も、正像二千年過て末法の始二百餘歳の今時は唯法華經計弘るべしと云文也。其故は人既にひが(僻)み、法も實

①給...れ#6字=侍れ ②釋して=云へり ③[失]一 ④[文]一 ⑤大衆=等乃至 ⑥[如...力]8字一 ⑦説=云 ⑧云=説 ⑨も+(後五百歳と説も)